

交通安全対策

「事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」の推進 ～新たな対策優先箇所を選定～

平成22年12月2日

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所

山梨県 県土整備部

目 次

1. 検討の全体構成	1
2. 事故データに基づく課題箇所	2
3. 事故データには現れない課題箇所	4
3. 1 県民からの意見収集	4
3. 2 地元自治体からの意見収集	6
4. 交通安全課題箇所	7
5. 交通安全対策優先箇所の選定	8

1. 検討の全体構成

(1) 前回委員会のまとめ

- ・「交通安全対策優先箇所」は、交通安全上課題がある箇所（「交通安全課題箇所」）を抽出した中より、優先して対策を実施すべき箇所として選定する。
- ・「交通安全課題箇所」は、「1. 事故データに基づく課題箇所」に加え、事故データに現れないヒヤリ・ハット箇所といった「2. 事故データには現れない課題箇所」をパブリックコメントや自治体意見を通して抽出する。

【前回委員会での確認した事項】

- ①検討の全体構成
- ②課題箇所の抽出における事故データに基づく抽出指標の設定
- ③パブリックコメントの実施内容

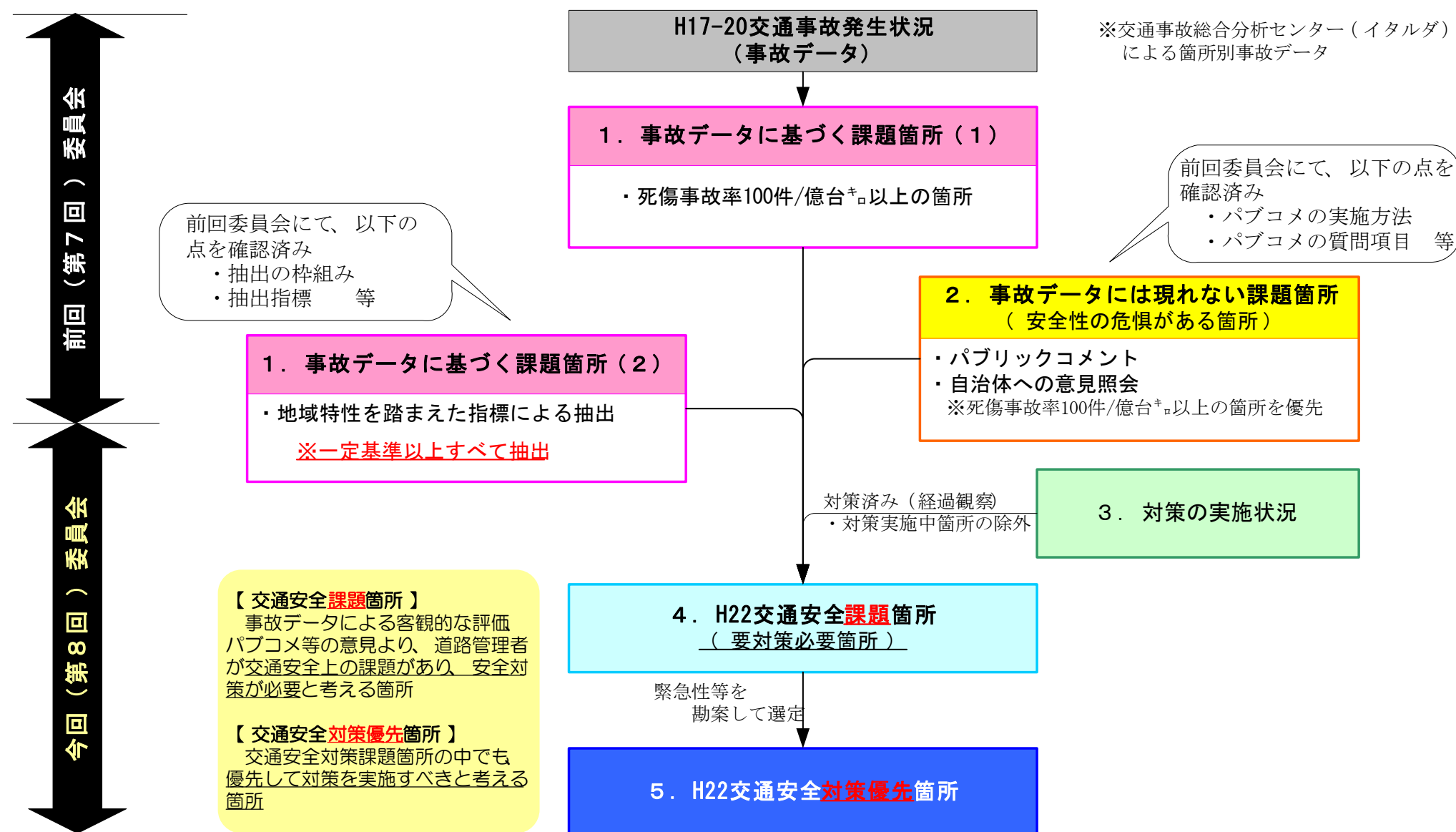
(2) 今回の委員会での議論のポイント

- ・今回の委員会では、前回に確認した抽出方法、抽出指標に基づいた「1. 事故データに基づく課題箇所」や、パブリックコメント等による「2. 事故データには現れない課題箇所」の検討結果を報告する。
- ・その上で、「4. 交通安全課題箇所」の抽出結果、及び最終的な「5. 交通安全対策優先箇所」の選定結果についてご確認頂く。

【今回委員会での確認事項】

- ①「交通安全課題箇所」の抽出方法と結果
- ②「交通安全対策優先箇所」の選定方法と結果

- ・今後、公表等にあたっては「事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）」という名称とする。



2. 事故データに基づく課題箇所（1 / 2）

- ・レッドゾーン戦略における「選択と集中」（効率的な対策の推進）の考え方にに基づき、レッド・イエローゾーン以上の箇所からの抽出を前提とする。
- ・効率的な事故削減の視点から、事故が多発している箇所から課題箇所を抽出するものとし、各抽出指標（着目事故）の「事故密度」が高い箇所から抽出するものとする。
- ・なお、抽出基準としては、上位（ワースト）20位とした。
- ・結果、事故データに基づく課題箇所を192箇所抽出した。

＜ 事故データに基づく課題箇所の地域別抽出状況 ＞

地域名	事故データに基づく交通安全課題箇所	参考 前回H17見える化優先箇所
甲府	144箇所（75%）	36箇所（77%）
峡南	5箇所（3%）	0箇所（0%）
峡北	9箇所（5%）	2箇所（4%）
富士北麓	21箇所（11%）	7箇所（15%）
東部	13箇所（7%）	2箇所（4%）
合計	192箇所（100%）	47箇所（100%）

※四捨五入のため合計が合わない場合がある。

（1）レッドゾーン戦略に基づく抽出指標

死傷事故率

100件/億台^キ以上

※レッド・イエローゾーンの箇所すべて

1650箇所

×
かつ

前回（平成17年度）策定時からの追加した指標

事故率

走行台^キあたりの事故件数
※1万台の車が1万キロ走行した場合に発生する事故件数（1億台^キあたりの事故件数）として算定

（2）地域特性等に基づく抽出指標

前回に基づく指標

(1) 死傷事故件数
① 死傷事故密度 20箇所

(2) 歩行者事故
② 歩行者事故密度 46箇所

(3) 高齢者事故
③ 高齢者ドライバー事故密度 43箇所

(4) 重大(死亡)事故
④ 死者数(密度) 28箇所
⑤ 大型車事故密度 20箇所

新たな抽出指標

(5) 自転車事故
⑥ 自転車事故密度 21箇所

(6) 交通弱者事故
⑦ 交通弱者事故密度 57箇所
※子ども事故と高齢者弱者事故を統合

(7) 休日事故
⑧ 休日事故密度(平日からの増加分) 23箇所

(8) 市街地(DID)における出会い頭事故
⑨ 市街地における出会い頭事故密度 30箇所

(9) 山地における正面衝突事故
⑩ 山地(単路区間)における正面衝突事故密度 4箇所

各指標上位20位

※箇所数は、死傷事故率100件/億台^キ以上での数

※箇所数は、上位20位での抽出であるが、同一順位、100件/億台^キ未満の箇所があるため、必ずしも20箇所とはならない。

事故データに基づく

=

交通安全課題箇所

192箇所

2. 事故データに基づく課題箇所 (2/2)

・事故データに基づく課題箇所のリスト等以下に示す。

※全箇所のリストは参考資料に掲載

＜ 事故データに基づく課題箇所の抽出結果 (指標別地域構成) ＞

～新たに追加した指標は、甲府地域以外からの抽出箇所がみられる～

課題箇所	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
	死傷事故	歩行者事故	高齢者ドライバー事故	死亡事故	大型車事故	自転車事故	交通弱者事故	休日事故	市街地における出合頭事故	正山面に於ける衝突事故	
該当箇所数	192	20	46	43	28	20	21	57	23	30	4
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
甲府地域	75%	100%	63%	91%	57%	60%	100%	81%	70%	93%	50%
峡南地域	3%	0%	2%	2%	7%	5%	0%	2%	9%	0%	0%
峡北地域	5%	0%	4%	2%	7%	20%	0%	4%	0%	0%	0%
富士北麓地域	11%	0%	13%	5%	25%	0%	0%	7%	13%	7%	25%
東部地域	7%	0%	17%	0%	4%	15%	0%	7%	9%	0%	25%

※四捨五入のため合計が合わない場合がある。

＜ 事故データに基づく課題箇所の抽出結果 (抽出指標数別) ＞

～複数指標で抽出された箇所は全体の4分の1～

地域特性に基づく抽出指標	直轄国道	県管理道路	合計
5指標該当	1箇所	1箇所	2箇所
4指標該当	5箇所	1箇所	6箇所
3指標該当	5箇所	8箇所	13箇所
2指標該当	14箇所	34箇所	48箇所
1指標該当	42箇所	81箇所	123箇所
合計	67箇所	125箇所	192箇所

＜ 事故データに基づく課題箇所一覧 (抜粋) ＞

事故データNo.	イタルダ区間番号	管理者	路線名	住所 (センサス調査箇所)	抽出指標										該当指標数	死傷事故件数 (件/4年)	区間距離 (m)	交通量 (台/日) ※センサス	対策実施状況	課題箇所としての設定	
					① 死傷事故 (率)	② 死傷事故	③ 歩行者事故	④ 高齢者ドライバー事故	⑤ 死亡事故	⑥ 大型車事故	⑦ 自転車事故	⑧ 交通弱者事故	⑨ 休日事故 (増加分)	⑩ 市街地 (DID) における出合頭事故							⑪ 正山面に於ける衝突事故
J1	19-101014K	県	甲府昇仙峡線	甲府市塩部二丁目2	1,076	9位		11位			138位	1位	15位		1位	5指標	25	100	15,910	—	●設定
J2	19-102218K	国	一般国道20号	甲府市中小河原町64-1	392	1位		1位			1位	1位	2位		41位	5指標	37	100	64,625	—	●
J3	19-100861K	県	一般国道358号	甲府市伊勢二丁目10-16	861	5位	72位	49位			111位	1位	5位		11位	4指標	28	100	22,275	済・中	—
J4	19-102500K	国	一般国道52号	甲府市青町3-18	812	6位		20位			179位	184位		2位	18位	4指標	26	100	21,935	—	●
J5	19-102135K	国	一般国道52号	南巨摩郡身延町下山1857-1	648	115位	18位	11位			9位		106位	13位		4指標	12	100	12,685	済・中	—
J6	19-102221K	国	一般国道20号	甲府市徳行三丁目15番1号	458	2位	72位	5位			2位		106位	1位		4指標	30	100	44,821	済・中	—
J7	19-102234K	国	一般国道20号	甲府市徳行三丁目15番1号	458	2位	72位	49位			2位	184位	15位	3位		4指標	30	100	44,821	済・中	—
J8	19-102232K	国	一般国道20号	甲府市徳行三丁目15番1号	443	4位	72位	20位			4位	70位	106位		18位	4指標	29	100	44,821	—	●
J9	19-101888K	国	一般国道20号	上野原市上野原8610	764	142位	8位				15位	184位	5位			3指標	11	100	9,856	済・中	—
J10	19-101304K	県	甲府基崎線	甲府市東光寺町1955-1	624	17位	2位	1位			152位	24位	106位			3指標	21	100	23,069	—	●
J11	19-102245K	県	甲府南アルプス線	甲斐市西八幡1625	543	9位	18位	20位			64位	70位		180位	73位	3指標	25	100	31,550	—	●
J12	19-101332K	県	甲府基崎線	甲府市東光寺町1955-1	505	33位	2位	11位			209位	5位	845位			3指標	17	100	23,069	—	●
J13	19-101309K	県	甲府基崎線	甲府市千塚三丁目4-21	486	33位	18位	20位			209位	24位	15位	32位		3指標	17	100	23,975	済・中	—
J14	19-100941K	県	一般国道411号	甲府市中央二丁目12-18	477	142位	18位				524位	70位	15位		18位	3指標	11	100	15,805	—	●
J15	19-102293K	国	一般国道20号	甲州市大和町助野1655	457	210位		11位	1位	18位						3指標	9	100	13,484	済・中	—
J16	19-100452K	県	一般国道137号	南都留郡富士河口湖町浅川1080	387	344位	18位	125位	1位	333位			15位			3指標	7	100	12,399	—	●
J17	19-100934K	県	一般国道358号	甲府市相生三丁目6-14	383	43位	8位	125位			333位	24位	5位		11位	3指標	16	100	28,611	—	●
J18	19-101186K	国	一般国道20号	大月市猿橋町殿上202	319	210位	8位				86位		15位	20位		3指標	9	100	19,345	—	●
J19	19-000339T	国	一般国道20号	甲府市向町729-1	316	9位		104位			14位			12位		3指標	46	184	54,153	—	●
J20	19-000503T	県	一般国道358号	甲府市相生三丁目6-14	301	111位	339位	322位	49位	488位	20位	14位		17位		3指標	25	199	28,611	済・中	—
J21	19-000464T	国	一般国道20号	甲府市徳行三丁目15番1号	290	21位		20位			11位	24位	106位	13位	73位	3指標	19	100	44,821	済・中	—
J22	19-102160K	国	一般国道52号	南アルプス市田島521	1,610	13位		49位			13位	184位	106位	81位		2指標	23	100	9,784	済・中	—
J23	19-100779K	県	富士山麓線	南アルプス市加賀美2377	862	176位	18位	49位			333位		15位	121位		2指標	10	100	7,948	—	●
J24	19-100893K	県	甲府昇仙峡線	甲府市塩部二丁目2	861	20位	72位	49位			179位	7位	106位		41位	2指標	20	100	15,910	—	●
J25	19-102498K	県	甲府南アルプス線	甲斐市中央二丁目10-33	958	115位		125位	1位	524位	70位	15位	61位	41位		2指標	12	100	9,856	—	●
J180	19-102259K	国	一般国道20号	甲府市向町729-1	164	90位		20位			80位					1指標	10	100	54,153	—	●
J181	19-102301K	国	一般国道20号	笛吹市一宮町末木255	157	434位	72位	435位	1位	152位						1指標	6	100	26,111	済・中	—
J182	19-000373T	国	一般国道139号	南都留郡西桂町小沼2041	155	662位	72位	435位			524位	184位	15位			1指標	9	200	19,887	済・中	—
J183	19-001862T	県	一般国道137号	南都留郡富士河口湖町河口30	143	904位		435位			687位	613位	539位	1272位	4位	1指標	10	300	15,973	—	●
J184	19-101201K	国	一般国道20号	大月市猿橋町殿上202	142	708位	18位	435位			333位		106位	48位		1指標	4	100	19,345	—	●
J185	19-102323K	国	一般国道20号	笛吹市一宮町末木255	131	548位		435位			209位			13位		1指標	5	100	26,111	—	●
J186	19-100905K	県	一般国道140号	中央市浅利橋西	124	708位		1位			524位			180位		1指標	4	100	22,175	—	●
J187	19-000288T	国	一般国道20号	甲府市徳行三丁目15番1号	122	276位	343位	435位			130位	24位	15位	235位	61位	1指標	16	200	44,821	済・中	—
J188	19-000502T	県	一般国道358号	甲府市相生三丁目6-14	120	546位		433位			1267位	20位	103位		72位	1指標	10	199	28,611	—	●
J189	19-000101T	国	一般国道20号	甲府市向町729-1	116	209位		48位			170位			7位		1指標	12	131	54,153	済・中	—
J190	19-003507T	県	佐野川上野原線	—	107	2641位					2624位				9位	1指標	2	376	3,390	—	●
J191	19-003967T	県	甲府基崎線	甲府市東光寺町1955-1	104	879位					1268位				12位	1指標	7	200	23,069	—	●
J192	19-100936K	県	甲府市川三郷線	甲府市中央四丁目9-7	100	1272位	72位	1位	1911位		106位	447位				1指標	2	100	13,684	—	●

抽出指標上位 (ワースト)

- 3位以上
- 5位以上
- 20位以上

※「該当指標数」が多いもの順に整理。なお、同一該当数の場合は、「死傷事故率」が高いものから整理している。

3. 事故データには現れない課題箇所（1 / 3）

3. 1 県民からの意見収集

(1) パブリックコメントの実施概要

①実施目的

事故データだけでは現れない交通課題箇所（ヒヤリ・ハット箇所）について情報を収集し、新たな交通対策優先箇所の抽出及び交通対策検討の基礎資料として活用する。

②実施期間

平成22年10月10日（日）～10月31日（日）

③実施方法

実施方法	
行政窓口等での配布	甲府河川国道事務所、山梨県、市町村窓口での配布
道の駅での配布	山梨県の道の駅17箇所での配布
ホームページ	甲府河川国道事務所のインターネットホームページ
委員会	委員会委員の協力により、関連機関等にアンケート調査票を配布

④新聞広告の掲載

平成22年10月24日（日）山梨日日新聞に掲載

⑤アンケート回収状況

- ・アンケートの有効回答を得た回答者数は、82人。
※対象路線である国および県管理道路以外の回答（8人）や交通安全以外の回答（2人）を除く。

< 地域別回収状況 >

地域名	回答者数（割合）
甲府	50人（61.0%）
峡南	11人（13.4%）
峡北	4人（4.9%）
富士北麓	4人（4.9%）
東部	13人（15.9%）
合計	82人（100.0%）

< 新聞広告 >

< インターネットホームページでの掲載 >



交通事故削減のために、パブリックコメントへのご協力をお願いします。

交通安全対策優先箇所における対策実施状況

現在、交通安全対策優先箇所47箇所のうち約8割で対策を完了しました。

⑥ 国道20号 甲府市徳行4丁目
交差点からの合流部において、注意喚起のためのカラー舗装や路面表示による追突事故対策を実施しました。

対策前 ↓ 対策後

国土交通省甲府河川国道事務所並びに山梨県では、県内の効率的かつ重点的な交通事故対策に取り組むに当たり、県民の皆様が、**国道・県道のうち特に課題があると感じる場所について、広く意見募集を行っております。**

皆様から頂いたご意見を参考に、データと照らし合わせ、様々な分野の方々で構成される「山梨県道路交通円滑化・安全委員会」等で交通安全対策優先箇所を検討して参ります。

平成17年度にもパブリックコメントを実施し、その結果を反映して交通安全上の課題が大きく、優先的に安全対策を行うべき箇所（H17交通安全対策優先箇所47箇所）を選定し、これまで、PDCAサイクル（Plan-Do-Check-Action）に基づいて対策を進めてきました。

パブリックコメントへの方法

回答期日
～平成22年10月31日（日）

質問内容
国道・県道において“ヒヤリ”としたこと、“ハット”したことなど、交通安全上課題があると考えられる箇所

調査票配布場所
・甲府河川国道事務所および各出張所
・山梨県庁および各建設事務所
・市町村窓口
・道の駅
・インターネット <http://www.krt.mlit.go.jp/koufu/>

まだまだ必要な交通安全対策

山梨県の交通事故死者数は、東京都の3倍
交通事故件数は減少しているが、減少割合は低い

【人口10万人当りの交通事故死者数(平成20年)】

東京都	1.7
山梨県	5.7
全国	4.0

【死傷事故件数の推移】

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局
甲府河川国道事務所 交通対策課
TEL 055-252-9581（直通）

ホームページからのアクセス

国土交通省 関東地方整備局
甲府河川国道事務所
<http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/>

3. 事故データには現れない課題箇所（2/3）

3. 1 県民からの意見収集

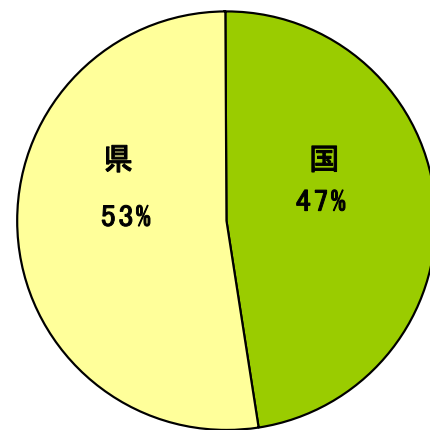
(2) パブリックコメントの集計結果

- ・回答から得たヒヤリ・ハット情報は、59箇所。
- ・59箇所の内訳としては、甲府市の箇所が全体の約6割を、交差点部が約8割を占め、直轄国道が全体の5割を占めている。
- ・ヒヤリ・ハット情報における事故の分類としては、自動車同士の「車両相互事故（自転車除く）」が全体の8割を占めている（複数回答あり）。
- ・また、その要因としては、道路「平面線形関連」、信号機がないなどの「信号機関連」、一時停止や歩行者優先の無視などの「交通規制関連」をあげる箇所がそれぞれ全体の約3割を占めている（複数回答あり）。

＜ ヒヤリ・ハット箇所の分布状況 ＞

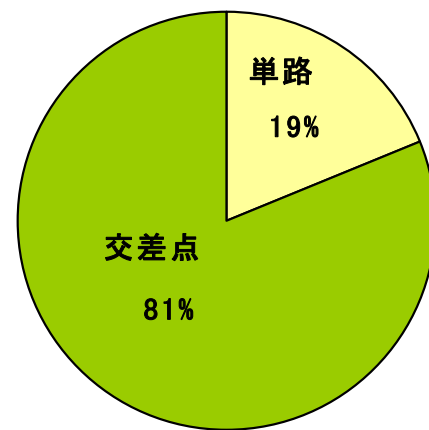
地域名	ヒヤリ・ハット箇所
甲府	34箇所（58%）
峡南	8箇所（13%）
峡北	2箇所（3%）
富士北麓	4箇所（7%）
東部	11箇所（19%）
合計	59箇所（100%）

＜ ヒヤリ・ハット箇所の
道路管理者内訳 ＞



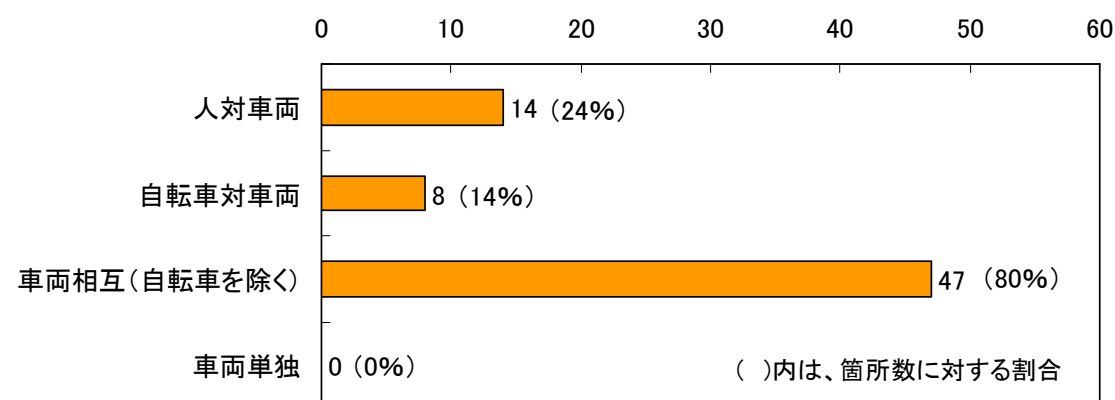
n = 59箇所

＜ ヒヤリ・ハット箇所の
交差点・単路内訳 ＞



n = 59箇所

＜ ヒヤリ・ハット情報における事故の分類 ＞



※複数回答あり

＜ ヒヤリ・ハットに至った要因 ＞

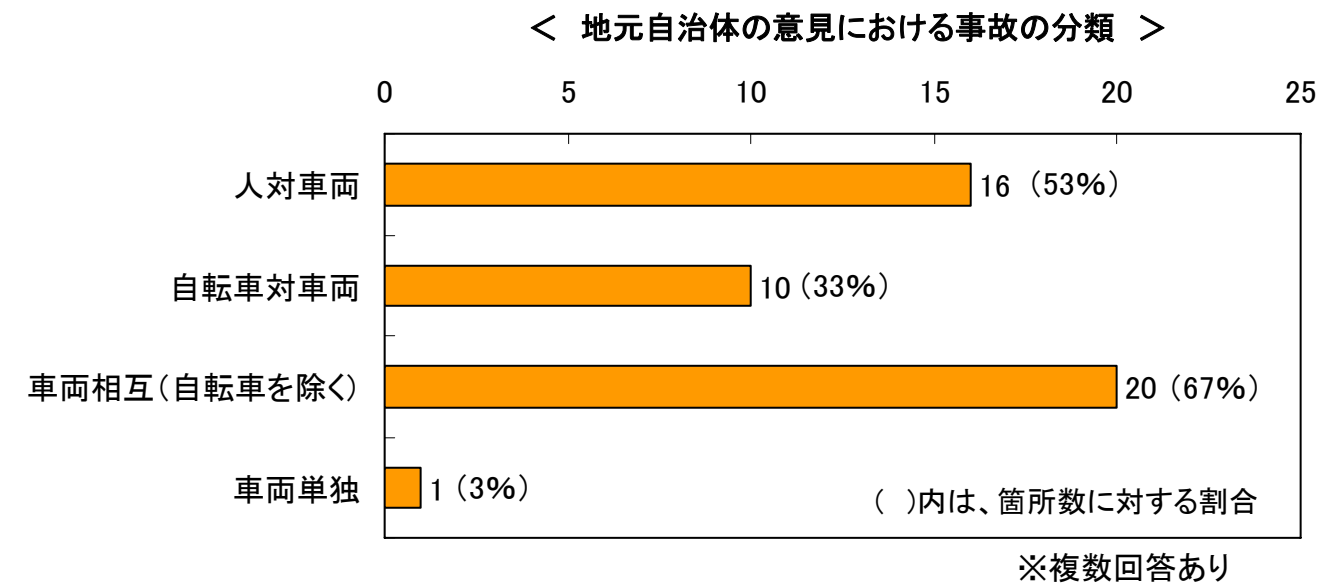
要因	該当箇所数	備考
1 見通し関連	14箇所（24%）	見づらい、見えない等
2 平面線形関連	20箇所（34%）	狭い、カーブがきつい
3 縦断線形関連	1箇所（2%）	急な坂で（見通しが悪い）
4 歩道関連	7箇所（12%）	歩道が無い、狭い
5 横断歩道関連	2箇所（3%）	横断歩道無い
6 交通規則関連	15箇所（25%）	一時停止が守られていない センターラインを超える等
7 信号機関連	16箇所（27%）	信号機がない
8 照明関連	2箇所（3%）	照明がない
9 右折レーン関連	2箇所（3%）	右折レーンがない
10 その他・不注意	8箇所（14%）	交通量が多い、出づらい、沿道 出入り車両、停車車両等
11 不明	4箇所（7%）	
ヒヤリ・ハット箇所数	59箇所	

※複数回答あり ()内は、箇所数に対する割合

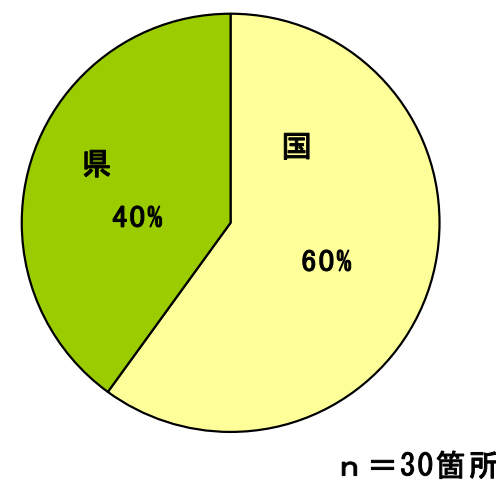
3. 事故データには現れない課題箇所（3／3）

3. 2 地元自治体からの意見収集

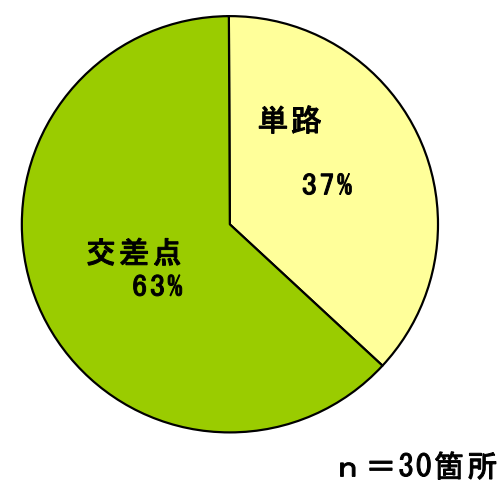
- ・地元自治体から得た交通安全上課題があると考える情報は、30箇所。
- ・30箇所の内訳としては、交差点部が全体の約6割を、直轄国道が約6割を占めている。
- ・これら地元自治体の意見における事故の分類としては、「車両相互事故（自転車除く）」が全体の約7割を占めている（複数回答あり）。
- ・また、その要因としては、道路の「平面線形関連」、歩道がない等の「歩道関連」をあげる箇所がそれぞれ全体の約5割を占めている（複数回答あり）。



＜ 交通安全上課題があると考える箇所の道路管理者内訳 ＞



＜ 交通安全上課題があると考える箇所の交差点・単路内訳 ＞



＜交通安全上課題があると考える箇所の要因＞

要因	該当箇所数	備考
1 見通し関連	5箇所 (17%)	見づらい、見えない等
2 平面線形関連	16箇所 (53%)	狭い、中心線がずれている等
3 縦断線形関連	4箇所 (13%)	下り坂で(スピードがでる)等
4 歩道関連	16箇所 (53%)	歩道がない、狭い等
5 信号機関連	4箇所 (13%)	信号機がない等
6 照明関連	1箇所 (3%)	洞門で暗い
7 右折レーン関連	4箇所 (13%)	右折レーンがない等
8 その他	4箇所 (13%)	直線でスピードがでる
課題があると考える箇所数	30箇所	

※複数回答あり ()内は、箇所数に対する割合

4. 交通安全課題箇所

(1) 事故データに基づく課題箇所

- 事故データに基づく課題箇所は192箇所あり、「交通安全課題箇所」としては、近年、事故対策を実施していない未対策区間より設定するものとし、145箇所を抽出した。

(2) 事故データには現れない課題箇所

- パブコメによるヒヤリハット箇所59箇所、地元自治体から得た交通安全上課題があると考えられる箇所30箇所をあわせると87箇所となる（重複箇所2箇所）。
- これら意見収集した箇所から「交通安全課題箇所」としては、死傷事故率100件/億台[※]以上を優先して設定するものとし、対策の実施状況を踏まえ、37箇所を抽出した。

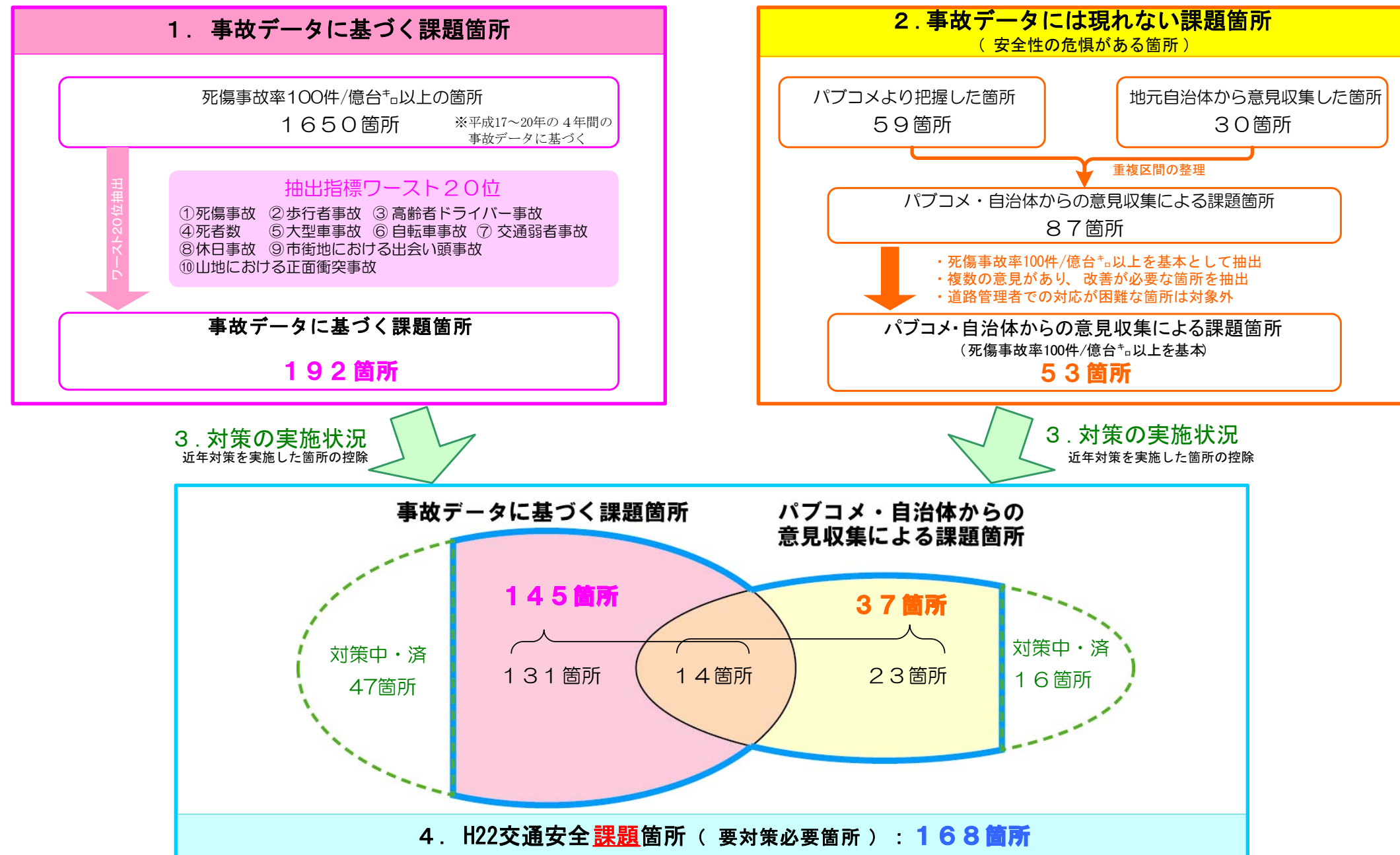
※近年、事故対策を実施した箇所：平成17年以降に対策を実施した箇所とした。
これらは、事故データに基づく評価の十分なデータがなく（事故データは平成20年まで）、現在、対策効果の経過観察期間にあたる。

※パブコメ、自治体の意見において複数意見があり、改善が必要とされる箇所については、死傷事故率が100件/億台[※]未満でも課題箇所とした。

※ここでの「交通安全課題箇所」は、道路管理者として対策が必要と考える箇所であり、信号機の設置、改良等、道路管理者での対応が困難と考えられる意見の箇所は対象外とした。

(3) 交通安全課題箇所

- 最終的な「交通安全課題箇所」としては、これら両者の重複箇所を整理すると、168箇所となる。



5. 交通安全対策優先箇所の選定

交通安全課題箇所の中より、優先して対策を実施すべき箇所として「交通安全対策優先箇所」を、以下の条件より選定した。

【優先箇所の選定条件】

①事故データに基づいて、複数指標によって抽出された課題箇所とランキング上位に該当する箇所

- 効果的な事故削減の視点から、複数の課題を有している箇所（3つ以上の指標で抽出されている箇所）を選定。
 - なお、抽出指標で上位（5位以内）のランキング箇所は緊急性が高いと考え、抽出指標の数にかかわらず選定。
- ※ただし、死亡事故の選定に関しては、同率一位が多いため、死傷者数が2人/4年以上発生している箇所を対象に選定した。

②事故データには現れない課題箇所

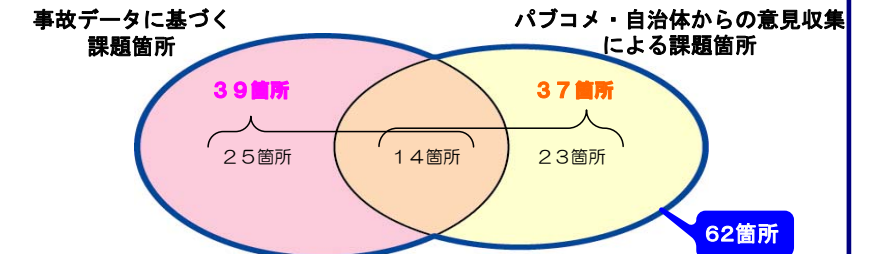
- 課題箇所抽出にあたり、死傷事故率等で緊急性の高い箇所を抽出していることから、すべての箇所を選定。

この結果、交通対策優先箇所としては、62箇所（直轄国道24箇所、県管理道路38箇所）を選定する。
 なお、優先箇所の対策方法については、今後、検討を進める。

4. H22交通安全課題箇所（要対策必要箇所）：168箇所

緊急性、効果的な対策実施を考慮

5. H22交通安全対策優先箇所：62箇所



＜交通安全対策優先箇所の地域別抽出状況＞

地域名	交通安全対策優先箇所	参考 前回H17見える化優先箇所
甲府	38箇所（61%）	36箇所（77%）
峡南	4箇所（6%）	0箇所（0%）
峡北	5箇所（8%）	2箇所（4%）
富士北麓	10箇所（16%）	7箇所（15%）
東部	5箇所（8%）	2箇所（4%）
合計	62箇所（100%）	47箇所（100%）

※四捨五入のため合計が合わない場合がある。

